

## 【調査報告書の見方10】

調査報告書は、企業の与信管理を行う上で参考となる資料です。最終的な総括所見であり、格付けの裏付けを把握する上で必要なデータが掲載されています。

＜現況と先行き所見＞				
<b>(1) 業 礎</b>				
【業 歴】				
	(30年以上)	20年以上	10年以上	5年以上
	5年未満			
【代表者評価】				
	優れている	まず良い	(普通)	やや劣る
				劣る
【会社世評】				
	優れている	まず良い	(普通)	やや劣る
				不安
<b>(2) 業 況</b>				
【仕入状況】				
	支払条件、手形30%内外・平均サイト		105日	(変わらない)
	仕入先との密着度	協力的	(普通)	やや警戒的
				警戒強し
【販売状況】				
	回収条件、手形0%内外・平均サイト			(変わらない)
	売上状況	上 伸	(横バイ)	純 化
				下 降
<b>(3) 業 績</b>				
【既 往】				
	優れている	まず良い	(普通)	やや劣る
				悪 い
【現 況】				
	優れている	まず良い	普通	(やや劣る)
				悪 い
<b>(4) 財務能力</b>				
【財務構成】				
	優れている	まず良い	普通	(やや劣る)
				悪 い
【資金状況】				
	優れている	まず安定	普通	(やや多忙)
				多 忙
				逼 迫
【銀行信用】				
	メイン銀行:	広島	(本店)支店、その他	2行と取引している
	銀行与信	厚 い	やや厚い	(普通)
				やや薄い
				な し
<b>(5) 将 来 性</b>				
	安定進展	まず安定進展	(現状維持)	現状維持不安
				脱落濃厚
<b>(6) 取引見解</b>				
業歴90年余を有する当地区における老舗家具小売店として、知名度は高く相応の基盤を有する。大手家具販売店の商圏内への進出と景気後退により売上は伸び悩みを見せているが、積極的な拡販策により地元顧客を呼び込み売上維持を図っている。当面の取引に問題はないものと思料する。				

関東洋ファニチャーリサーチ

(11)

- ・ 報告書の2ページから10ページまでの内容を総括し、5から6段階に評価して分析しやすいものになっています。
- ・ 1頁目の表紙下段、格付け項目とリンクしており、それぞれの加減点の裏付けとなっているものです。
- ・ 取引所見 総ての調査項目を鑑みて、企業の特徴と現状、将来性を判断し、取引に対する取り組みについて意見を述べています。最終的な判断は各社にゆだねられますが、参考としてください。

### 【まとめ】

- ・ 弊社の企業診断は、前述の通り「業礎」「取引状況」「業績」「財務」「世評」「先行き」の6項目を基本として行われております。各項目の重要度は表紙下段の信用要素を見ていただければ分かると思いますが、業績と財務が特に重要になってきます。特に、財務諸表の見方や分析方法については重要であり、参考書籍などを利用して各人が勉強されることをお勧めいたします。
- ・ 【調査報告書の見方】には報告書をチェックする上で重要な点を挙げさせていただいていますが、これ以外にも報告書には書けないようなポイントも多数存在します。評価点の加減点はこうした内容も加味して付けられている場合がありますので、疑問点が発生した場合はお気軽にご一報ください。